バックカメラ

取扱説明書

XTRONS 車載用バックカメラをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。お読みになった後も、大切に保管してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽症を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容です。

■ お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき

⚠ 警告

本機はDC12V　㊀アース車専用です
DC24V車には使用できません。火災や故障の原因となります。

作業前に、必ずバッテリーの㊀端子を外す
外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

説明書に従って、取り付けや配線をする
作業は手順通りに正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

作業後は、車の電装品※の動作確認をする
正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。
※ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど

分解禁止

分解や改造をしない
特に、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。
交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

取り付けやアース配線に、車の保安部品※を使わない
制動不能や発火、交通事故の原因となります。
※ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って、飲み込むおそれがあります。
万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

取り付けや配線をするとき

⚠ 注意

取り付け（取り外し）や配線は、専門技術者に依頼する
誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、
専門技術者にご依頼ください。

必ず、付属品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

取り付け場所の汚れ（ごみ・ほこり・油）などを取り除き、しっかり取り付ける
走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。
ときどき取り付け状態（接着やねじのゆるみなど）を点検してください。

コードを破損しない
断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。
傷の部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれ、火災や感電、故障の原因となります
- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしない。
- 車体やねじ・可動部（シートレールなど）へ挟み込まないように、引き回す。
- ドライバーなどの先で押し込まない。

ご使用になるとき

⚠ 警告

目視による安全確認をする
モニター画面だけでなく、必ず目視による安全確認をしながら、ゆっくり後退してください。
カメラの死角になっている人や物にぶつかる恐れがあり、交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

故障や異常な状態のまま使用しない
画像が映らない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、
ただちに使用を中止してください。
事故や火災、感電の原因となります。

ご使用になるとき

⚠ 注意

本機を車載用以外には、使用しない
発煙や発火、感電、けがの原因となります。

自動洗車機（高圧水）による洗車をしない
カメラ内部に水が入ると、火災や感電、故障の原因となります。
また、脱落による事故の原因となります。

異常発生時やお問い合わせは

お買い上げのストアにご相談ください。
- お客様による修理は、絶対におやめください。

使用上のお願い

携帯電話を使用する場合は

- 電話の位置や向きにより、カメラ映像にノイズが出ることがあります。その場合は、本機から離してください。

免責事項について

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤用、異常な条件下での使用により故障および損傷が生じた場合、補償はできません。
- 本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の保証はできません。

取り付ける前に

- 内容物をご確認ください。
- 設置面の汚れ（ごみ、油など）をきれいに拭きとり、湿気を乾かしてください。
- 取り付けや配線の作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

あらかじめ仮接続・仮止めして、取り付ける位置を決めてください。貼りなおさないでください。
- 必要な範囲が見える取り付け位置を確認してください。
- カメラが車体やリヤワイパーにあたらないように取り付けてください。
- カメラは車幅に対してできるだけ中央付近に取り付けてください。

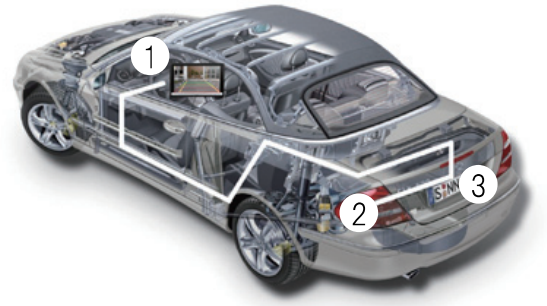
■しっかりと取り付けるために

- 気温が低いとき（20℃以下）は、ドライヤーなどで接着面を温めてください。
- 接着面が完全に乾いた状態で作業を行ってください。接着不良などによるはがれの原因となります。
- 取り付けたあと、24時間 以内は雨にぬらしたり、水をかけたり、引っ張ったり、無理な力を加えたりしないでください。

お知らせ

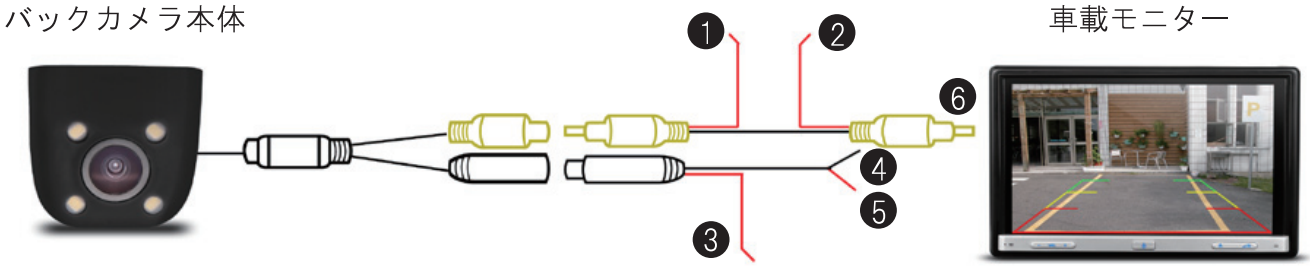
- フッ素樹脂処理された（水滴や泥水などをはじく）塗装面やガラス面、再塗装された面には貼り付けられません。

1. 車載モニターに接続
2. 電源ケーブル（＋ 12 ｖ・アース）
3. バックカメラ本体



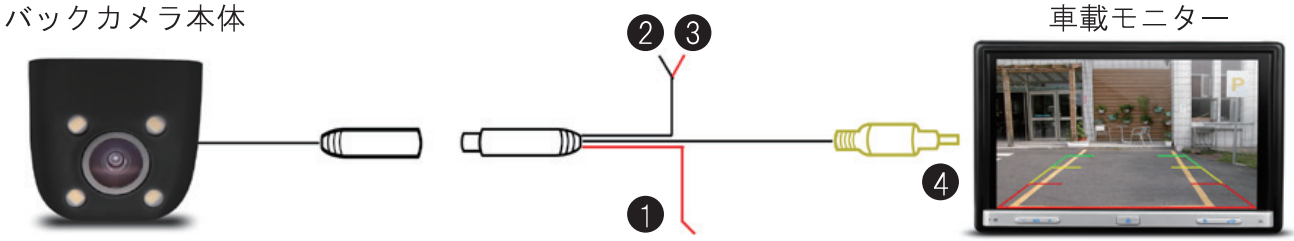
付属配線の仕様によって配線設置方法をご確認ください。

配線設置方法 1



❶❸＊映像自動変換配線の通電のために、必ず ❶と❸を接続してください。
❷ 映像自動変換配線（車載モニターやナビゲーションシステムのリバース用信号配線に繋ぐ）
❹ アース（マイナス極に繋ぐ）
❺ ＋ 12 ｖ（車テールライトのプラス極に繋ぐ）
❻ 映像入力端子（バックカメラ専用端子に接続）

配線設置方法 2



❶ 映像自動変換配線（車載モニターやナビゲーションシステムのリバース用信号配線に繋ぐ）
❷ アース（マイナス極に繋ぐ）
❸ ＋ 12 ｖ（車テールライトのプラス極に繋ぐ）
❹ 映像入力端子（バックカメラ専用端子に接続）

故障かな⁉

症　状	原　因　と　処　置
カメラ映像が映らない	● 各コードの接続をご確認ください。 ● 接続している機器の設定を確認してください。 ● 本機、または接続した機器のヒューズが切れている。 → お買い上げのストアにご相談ください。
映像が不鮮明	● カメラに泥やほこりがついている。 →レンズの汚れを拭いてください。
画面に白線（光の縦線）が出る	● 太陽光を直接映したり、強い光（バンパーからの反射やヘッドライトなど）が入射している。 → 光源の上下に明るい縦線が現れることがあります。 （故障ではありません）
画面がちらつく	● 蛍光灯などで照らされた場所を映している。 → 画面がちらつくことがあります。 （故障ではありません）
画面が見えにくい	● 暗いところを映している。 ● 部分的に明るい光を映している。 ● カメラが高温になっている。 → 画面が見えにくくなることがあります。 （故障ではありません）
画面が白黒に映る／ 縦縞が入る	● バックカメラとモニターのビデオシステム（映像方式）が合わない。 → モニターに映像方式の変更項目がある場合、変更してください。